「消えた十円玉」改訂版

2007.2.13 大宮小学校学習発表会初演 6年1組

一幕五場

作・渡辺俊三
案・6の1のみなさん

あらすじ

ある日の放課後、塾へ行く子、習い事へ行く子、野球の練習に行く子、友だちと遊ぶ子。みんな楽しそうに学校をあとにします。

十円玉をにぎったシュン少年は、たった十円のおこづかい、とみんなに冷やかされます。十円玉の使い道がなくなった、シュン少年は、何を思ったのか、その十円玉を空に向かって投げてしまいました。お母さんが、めずらしくくれた大切な十円玉…

その十円玉をさがしに行ったシュン少年は、不思議マジシャンに会い、なふしぎな国へ迷い込んでしまいました。

「勉強の国」…子どもたちは、遊びを知らず、勉強ばかりしています。

「遊びの国」…ここでは、子どもたちは勉強せずに自由に遊んでいます。ゲームで遊ぶ子、鬼ごっこをする子など。

「子どもの国」…ここでは、子どもが国の主役になって、選挙にも子どもだけが立候補できるのです。

「なんでも学校の国」…この国には、いろいろな学校があります。子どもたちは好きな学校を選べます。「スポーツ学校」では、スポーツを好きなきに好きだけやれます。「発明学校」「イラスト学校」など。発明学校には、上手なイラストを本物にするという、立体コピー機もあります。

それは、千年後の地球の姿でした。そこに迷い込んだシュン少年たちは、どうやって、元の地球にどって帰ることができるのでしょうか。

キャスト

シュン少年	…哉岡 涼	(主人公、水泳が得意)
謎のマジシャン	…島 剛	(マジックの名人、不思議な国への案内人)
シュンの友だち	…森 樹木	(野球が得意、遊びも考え出す名人)
探検少女	…反川 誠一	(計算が得意、歴史も得意)
	…まつきー	(計算が得意、友だち思い)
	…みつきー	(バスケット、サッカー得意、パソコンも好き)
	…かい	(一輪車が得意、物静か)
おにメン仲間	…ヤス	(遊びを仕切る、イラストも得意)
(遊びの国)	…ムラ	(紙ヒコーキづくりの名人、友だち思い)
	…シンゴ	(ムラのライバル、近所のガキの面倒をよく見る)
	…もゆー	(イラスト、キヤッチコピーが得意)
	…にっしー	(犬が大好き)
勉強の国の子	…コニカ	(物知り、天才とあだなされる)
	…ユウ	(エスカレ計算名人)
	…マツチー	(読書大好き少年)
子どもの国	…おちやま	(ピアノ上手・音楽学校にも)
(勉強の国)	…みささ	(ピアノ上手・音楽学校にも)
	…つー	(ピアノ上手・音楽学校にも)
	…りー	(さいほう得意)
イラスト学校の子	…ちーち	(色彩感覚抜群・イラスト学校にも)
	…えりか	(ぞうのイラストが得意)
	…てんて	(子どものイラストが得意)
野球学校の子	…コウタロー	(計算も得意)
(遊びの国)	…カズ	(石を集めるのも好き)
	…ユウヤ	(細かい字でノートをとるのが得意)

カズ
ユーヤ
シーチ
ヒロ

来週試合やしな。
ちんじゆ公園まで走るぞー。
(野球組去る)
ぼくからも練習できるところ、あったらいいのになあ。
近くで、おもいきりいっぱい練習したいなあ。
(バスケット組も去る)

バスケットボール

おちやま
つー
みささ
りー
ちーち
えりか
てんて
えりか
てんて

子ども組きやーきやーいいながら登場
また見にいこうか。
なんか、めっちゃやおもしろいなあ。
なんかかわらえてくるねんなあ。
先生の顔思い浮かべるしやる。
そうかも。
(4人笑いながら去る)
あの人らなに見にいかはんねん。
選挙のポスターやて。
ポスターがそんなに面白いの。
しらん。えりかちゃん、私のうちで、絵かこう。
(2人、去る)

ダンス組登場

りん
はるひ
りん
ありさ
りん

はるひちゃん、あそべる。
あかんねん、今日は「七色の子」学童の日やし。それに来週クラブ発表で、ダンスおどらなあかんし、練習やねん。
ありさちゃんは、今日バスケットない日やる。
あかんねん。今日は、習字の日やねん。今こんな練習してるねん。(習字作品を見せる)
ありさちゃん、すごいなあ。

習字作品

ありさ
りん

ごめんな、ほなさいなら。(2人去る)
なんやみんな、おもんない。家かえってねことねとこ。(下手へ去る)

まつきー
かい
みつきー
まつきー
かい
みつきー
まつきー
かい
みつきー

(探検少女グループ一輪車で登場)
今日宿題あったか。
先生、また、ゆうのわすれたはる。
今日も、「シユンゾウ少年の話」で、国語の時間おわってしましたしなあ。
あんまし、おもしろくないけど、勉強よりましやしー。
みつきーちゃん、今日の探検で、見つけたもの、見せて。
これ、すごいもんやで。
これ、いん石やで。
すごいもの、みつけたなあ。
これやし、探検ごっこやめられへんなあ。

いん石

まつきー
シユン
誠一
樹木
みつきー
誠一
かい
シユン
誠一
まつきー

(シユンたち3人登場・シユンはうなだれて登場)
シユン、どうしたん。
手品グッズ、買おと思つたのに…。手品のおっさん、もう、帰ってしまった、いなかっただんや。
ああ、今日ファイブイレブンのコンビニの前で、売ってたなあ。
おまえ、いくらもつってんねん。(シユンの手のひらを開けてみる。)
えっ、十円。
たったそれだけ。
それで、手品グッズ買えるの。
一番安いのが、十円でかいてあったんや。お母ちゃんにゆうて、十円やっともらってきたのに。
おれとこ、おこづかい百円はくれはるで。十円なんて、なんも買えへんやん。
そんなことゆわんといたげえな。
ごめん、シユン、代わりに、これあげるわ。

10円玉

シユン
誠一
シユン
シユン

なに、これ。
アンモナイト。一億五千年前の貝の化石や。
そんなすごいもん、もらってええのん。
かまへん、ぼく、もうひとつもってるし。
やったー。よしやっ。

(何を思ったのか、シユンは、手ににぎっていた十円玉を空に向かって投
げてしまった。投げた向こうには、草むらが広がっていた。)

シユン
樹木
誠一
樹木
誠一
シユン

まつきー

あつ、しもた。十円玉を投げてしもたー。
あつ、十円玉がとんでいく。
ああ、十円玉がきえたー。
もうみつからへんでー。
十円ぐらい、ええやん。
あかん。いつもくれへんお母ちゃんが、めずらしく、くれた十円玉や。
大事な大事な十円玉や。さがしだすぞー。十円玉ー。
(さがしに、かけだす。)[舞台をおりて、客席の中へ。]
シユーン、わたしらもいくー。(ここで暗転。5人は舞台に残る。)

二場 なぞのマジシヤン

(中幕の前で)

シユンたち6人、真っ暗な中、手さぐりで下手から登場。
上手はしに、スポットライトを浴びて、なぞのマジシヤンがたっている。

シユン
ミス・チル

あつ、手品グッズを売ってたおっちゃんや。
おっちゃんじゃない。世紀の魔術師・ミスター・チルと呼んでくれ。(何か
歌を歌う)

誠一
樹木
ミスチル
まつきー
ミスチル
ミスチル
まつきー
みつきー
まつきー
樹木
ミスチル

ミスチルさん、手に持ってるものは。
10円玉じゃないか。
そうだ。シユンがなくした、10円玉だ。
かえしてあげてよ。
はい、といたいところだが、君たちには、未来の国へ冒険に行ってもらい
たい。
冒険!
おもしろそー。
何を冒険するの。
未来のいろいろな国で、10円玉をゲットしてくるのだ。10円玉が5つ集
まったら冒険は終わりだ。もちろん私もいく。
じゃあいいか、この10円玉が消えたら、君たちも消える。そして、現在と
はおさらばじゃ、未来の国で会おう。
(といって、10円玉を消してしまう。暗転。わーというみんなの声)

三場 勉強の国

だんだん明るくなった舞台中央で、机に向かう子どもたち数人。

シユン
ちーち
ユウ
誠一
つー

マツチー

樹木

ここはどこだ。
なんですか、あなたたち。
どこから来たのですか。
ここは、どこです。
ここは、銀河αのx星、勉強の国です。
私はもう二四時間、読書をし続けています。「スッコケ三人組全五〇巻」を
読破しました。
遊ばないのですか。野球とか。(スウィングのまねをする。)

化石

ここから、宇宙音
照明係・
暗転
中幕係
マジシヤンの服装

ここから、宇宙音
照明係・
暗転

小黒板
イス机三台
背景かえる照明・
だんだんあかるく
していく。
なか
右・
左・

みささ
誠一
シュン
樹木
ユウ
コニカ
ユウ
誠一
リ一
シュン
つー
まつきー
ユウ
コニカ
ちーち
誠一
リ一
シュン
樹木
誠一
ユウ
樹木
シュン

はあ、「あそび」で、なんのことですか。
はあ、あそびて何のことですか、て、なにをきいているの。
樹木くん、コマを回してみせたあげたら。

(樹木、コマをまわす。)

これはコマ回しという遊びだよ。
すごい、それが遊びというものですか。

この円周と回転率との関係はどういう計算をしたのですか。
あなたたちはすごい計算力の持ち主ですね。

誠一くん、紙飛行機を飛ばして見せてあげたら。

(誠一、かみひこうきをとばす)
すごい。そのペーパーにかかる重力と、浮力との関係は、どこで研究したのですか。

「あそび」という勉強は、どこで教えてもらえるのですか。
はあ、どこで、僕らといっしょに遊んだらいいだけだよ。

ほんとですか。おねがいます。

ところで、君たちは、なんのめあてがあつて、勉強しているのですか。
計算大会で一分台を出すとあのメダルがもらえるのです。

(指さしたところに十円玉がかざつてある。)

えっつ、あれつて、十円玉じゃないの。

あれはいまから千年前に空からふつてきたものです。

科学者に調べてもらったところ、銀河系の地球という星の中の小さな国、日本という国らしいが、そこで使われていたコインらしい。

そのコインがどうしたのか、この×星に落下してきたと言うことなんです。
この国にはないたいへん貴重なものなのです。

千年前つて言つたね。

千年後に来ているのか
計算大会で勝つたらだれでももらえるの。

10円玉のメダル

みささ
シュン
マツチー

もちろんですよ。
じゃ、まつきー、おまえでろよ。
僕の方がはやいよ。コニカ、ユウたのむぞ。

(計算大会始まる。)
(ストップウォッチをもって) それでは、計算大会を始めます。今日は、二月十三日ですから、「13」のエスカレ計算をします。

(急に現れて、シュンに耳打ち)「13」はまずい。「15」なら勝てる。
「15」でお願いします。

ああいいですよ。よいい、はじめ!
(勉強の国二人と、まつきーが小黒板で計算競争する。)
できたー。

やったー、かつたぞ。じゃこれをもらいますよ。
(十円玉をじつと見て、)これぼくの投げた十円玉ダー、やたー、十円玉を

みつけたぞー。(といつて、上に投げる。ちょうどそのとき、なぞのマジンヤンが、何かまじないをかける。と、十円玉が落ちてこない。)

あれ、十円玉が落ちてこない。(天井を見あげる。)
あつ、十円玉がきえたー。

(天井を見上げて)十円玉が消えター。(というつと、ふしぎな音が聞こえてきて、みんな、くるくると回り始める。) 暗転

四場 遊びの国

シュンたち6人、真つ暗な中、くるくる回りながら、手さぐりでしている。
だんだん明るくなった舞台中央で、ゲームで遊ぶ子どもたち数人。
(遊びの国の子どもたち)

ここから、宇宙音
照明係・
暗転

背景
照明・だんだんあ
かるくしていく。
なか・

シユン
ミスチル
おちやま

みささ
つーち
りー
ちーち

シユン
樹木
おちやま
シユン
かい

つーち
シユン
ミスチル

みんな

みんな、肩からたすきをかけて、そのうち一人は、台の上ののっている。
(ミスチルにきく) ここはどこなのです。
ここは子どもの国。子どもたちが国を治めているのだ。選挙に立候補できるのも、子どもだけ。今ちようど、選挙をやっているところだ。
(演説調で) 私が当選したら、お菓子を好きなだけ食べられる権利をつくり
ます。(見ている子どもたちが拍手)
私は、好きなだけ遊べる権利をつくります。(拍手)
私は、好きなだけお父さんの母さんに甘えられる権利をつくります。(拍手)
私は、ぬいぐるみ動物園をつくります。
私は、らくがき公園をつくります。らくがき、イラストを思い切りいっぱい
好きなところに描いていい公園を作ります。
あの横に飾ってあるのは。
一〇円玉のメダルだ。

右・
左・
台
たすき
10円玉メダル

一番拍手が多かった人がもらえるのです。
かいちゃん、何かしゃべっておいでよ。

私は、自由に友だちと遊べるお部屋をつくります。
(すごい拍手)

(すごい拍手)

このメダルは、あなたのものです。(かいの首にかける。)

(かい、うれしそうにそれをシユンに渡す)

おっちゃん、いや、偉大な魔術師・ミスター・チルさん、これで、一〇円玉
は四つ集まったはずですね。

そうだ。では最後の冒険にしゅっぱーつ。
(と言って、手にした一〇円玉をマジックで消してしまふ。)

あつ、一〇円玉が消えたー。(暗転)

ここから、宇宙音
照明係・
暗転

六場 なんでも学校の国

シユンたち6人、真つ暗な中、手さぐりで、うごく。

だんだん明るくなった舞台中央に、野球少年やバスケット少年。

うしろの方では、イラストを描いている子、など。

ここはどこだ。

ここはどこですか。

ここは、なんでも学校の国ですよ。

なんでも学校。

そう、自分の好きな学校をえらんでいけるの。

ぼくたちは、「野球学校」の生徒です。すきなだけ野球ができるのです。
(舞台中央で、キャッチボールや素振りをする。)

(拍手)

ぼくたちは「バスケットボール学校」の生徒です。

一日中バスケットをやっています。

(ハンドリング、ドリブルを見せる)

(拍手)

私たちはダンス学校。一日中ダンスをしています。

(舞台中央で、ダンスを見せる。)

(拍手)

私たちは「音楽学校」。好きなだけ楽器が弾けるの。

(キーボードでやピアノで曲を演奏する)

(みんな拍手)

わたしは、「イラスト学校」です。(イラストを見せる。)

(みんな拍手)

ぼくはマラソン。(なわとびをしてみせる)

(みんな、拍手)

背景
照明・だんだんあ
かるくしていく。
なか・
右・
左・

野球道具

バスケットボール

ダンス音楽

キーボード

ピアノ

イラスト作品

なわ

てんて

いま、「空飛ぶ教室学校」の人たちが、ジェット機でアフリカへ遠足に行つたところよ。

ジェット機音

えりか
ライ

(みんな、空を見上げる)
すきなときにすきな学校へ行けるんですよ。
わたしは、「発明学校」。この機械は、イラストから、本物を作り出す機械、「立体コピー機」。

立体コピー機

えりか

ただし、上手なイラストでないとだめなんだ。
(ぬいぐるみのイラストをいれると、ぬいぐるみがでてくる。)

ぬいぐるみ

てんて

どう。すごいでしょ。

みんな

すごい！

10円玉イラスト

まつきー

まつきー、十円玉のイラストをかいてみてくれよ。
まかしといて。(イラストをシュンにわたす)

シュン

やってみましよう。(まつきーのかいた十円玉のイラストを機械にいれる)
(ちゃりんと音がして、十円玉がでてくる。)

効果音「チャリン」

樹木

これで一〇円玉が五個だ。かえられるぞ。

まつきー

かえられるぞー
ミスチルさん？あれ、ミスチルさんは。ミスチルさーん！
かんじんなときにいなくなつて、どうやってもとの地球にもどるのだー。
せつかく一〇円玉が五個集まったのに、どうやって、帰るの。
ハカセくん、何かいいチエはないの。

ライ

うーん、今年は？
(新聞を取りだして)わー、ローマ字新聞だ。樹木くんたのむ。
(新聞を手にもつて)三〇〇七年二月一三日です。

ローマ字新聞

樹木

千年後になつていいる。
ここは銀河βのz星、三五の一三五・五。

ライ

ちようど今日は、タイムホールが通る日だ。

みつきー

タイムホールで何。
時間と空間が混じり合つて、いろんな時間にいけるとどこもドアのようなものなんだ。

まつきー

タイムホールがおるつて、それにのれば、どこへでもいけるの。
なにか道具はいらないの。

かい

道具じゃないんだ。いん石と、化石と、もう一つ金属もいるのだ。

シュン

いん石？
いん石つて、これでしょ。

いん石

ライ

そうそう、すごい。よくこんなもつていたね。
化石、化石なんて今すぐ手に入らないよ。

シュン

シュン、ぼくがあげたアンモナイトの化石は。
あっ(ポケットをさぐる。こなごなになつたかけらが。)こなごなになつて、つぶれてるー。

石のかけら

ライ

だいじようぶ、こなごなでも。
ああよかった。

樹木

これで、いん石と化石、ふたつそろつたね。
あと金属。金属つて何。

誠一

帰りたいとおもう、その時代に、二千七百年に、人間がつくつた金属がいるのだ。

シュン

そんなもん、もつてるわけないだろう。
せつかく化石といん石があつたというのに。
ああ、かえれないー。

樹木

(にぎつていた手のひらをゆつくり開けて)十円玉。これ、金属じゃない。
そうそれ。

コウ

よかつたー。

まつきー

これで帰れるのね。
そのタイムホールがここを通るのは何時何分。
三〇〇七年二月一三日午前一〇時一〇分一〇秒一〇。

まつきー
シュン
ライ
まつきー
シュン
まつきー
シュン
かい
樹木
みつきー
樹木
シュン
みんな

えっもうあと一分しかないよ。
化石といん石と十円玉をどうすればいいの。
化石といん石と、金属をもった人と手をつないでおくの。
手をつないだ人だけが帰れるの。ふーん。
（舞台中央にで）よしっ、みんな手をつなげー。
ありがとう、みなさん、おげんきで。
あっ、みつきーがいらない！
あいつまた、何かをさがしにいったんだー。
わたし、さがしに行く。
えっ、あと三〇秒しかないぞ。
（かい、さがしに行つて、みつきーと手をつないでかえってくる）
みつけたー。化石を見つけたー。未来の化石ー。
なにをのんきなこといつてるのだー
まにあつたー。よかつたー。あと五秒だーだー。
5・4・3・2・1・0……
（すごい音とともに、真っ暗になる。）
（地球人、みんな下手に退場。）

七場 元の広場

てんて
シュン
樹木
えりか

シュンたち6人が下手から登場。
舞台中央で、クラスのみんなが心配そうに出むかえる。
あんたら、いっしょにおにごするってゆつたのに、どこへいつてたん。
すまんすまん、ちよつとな。さがしもんや。なあ。
うん、ちよつとふらふらな。
へんなひと。

ここから、宇宙音
照明係・
暗転

はじめの背景
明るくなる
なか・
右・
左・

まつきー
シュン

シュン、手の中に何をにぎっているの。
（シュンがにぎっていた手のひらを開けると、そこにぴかぴかの十円玉
が5つものついていた。）
十円玉が。五つもあるー。
消えた十円玉は、一こやったのにー。
やったー、十円玉がふえたー。
もう一回、こんどはみんなで、不思議の国に行くか。
いくいく
ほんまやなー。かえつてこれへんかもしれへんでー。えーかー。なげるでー。
（といて、もっていた十円玉を全部投げる。）

……幕

幕閉め・